大阪市教

2023年6月1日
VOL. 603

発行　大阪市学校園教職員組合
大阪市中央区法円坂1-1-35（大阪市教育会館内）
TEL 6910-8700　FAX 6910-7990

市会議員定数削減 多様な民意切り捨て
カジノは止められる

市会開会 市対連

大阪市の5・6月市会（定例会）が5月18日に開会し、大阪市対策連絡会議は淀屋橋で宣伝、中央公会堂前広場で集会、市役所周辺パレードを行いました。「多様な民意を切り捨てる議員定数削減止めよ」の横断幕やプラカードを掲げ、「市民の声を聞く議会をつくろう」「カジノはアカン」などと唱和しました。

横山秀幸市長は施政方針で、市政を「引継ぎ」万博、「世界最高水準の成長型IRの開業」（カジノ）、淀川左岸線2期事業など大型開発の継承、「府・市一体」で「副首都ビジョン」を進めるとしました。カジノ依存症対策は従来の対策、「教育無償化」に言及したものの少人数学級には全く触れませんでした。

市会定数削減反対シンポジウム

カジノ認定取消京橋宣伝

子ども食生活 栄養格差

大阪市教は宣伝で「食べられないほどの貧困」が先進国でも広がっており、子どもの食生活較差、栄養格差、とりわけ給食のない日、生鮮食品、魚などを食べていないなど深刻と指摘しました。市対連は子ども政策を充実し、医療費窓口負担の完全無償化、子ども食堂補助、就学援助の捕捉率を高めること、少人数学級などを求める市民運動を進めます。

政治的多様性 否定する維新

大阪市をよくする会と民主法律協会は5月20日、定数削減ストップ緊急シンポジウムを開きました。

大阪経済大学の柏原誠準教授は問題点を指摘しました。

国勢調査に基づく「1票の格差」是正ではなく、定数削減自体が目的でまともな理由ではない。市民の政治的多様性を反映しない。1区あたりの定数は3・375人で政令指定都市中最低。議員1人当たりの人口は横浜、名古屋に次いで第3位で約3万3000人。「大政党」に極めて有利な選挙制度。議会・議員には行政のチェックや民意の反映など重要な役割があり、複数の議員による公開された場での自由な論議が不可欠。定数削減はこれに全く逆行している。

多様な意見を反映できる議会のあり方を、定数だけでなく選挙のあり方、議会審議のあり方を含めて、市民が関心をもち議会も説明責任を果たしていくことが求められている。

定数削減を強行した府議選では投票の4分の1が死票となり、有権者比26%の得票で議席の70%を占めています。

カジノ新署名 小中高生も署名

カジノ問題を考える大阪ネットワークは5月24日、「国が4月に認定した大阪カジノはまだ止められます」と宣伝し大阪市教も署名活動に参加しました。小・中・高生も署名する等関心が高く87人分の署名が集まりました。

障害児教育を守れ
特別支援の加配実現

通級指導教室の新設校で、特別支援学級の削減が起きています。特別支援学級在籍が6人減り2学級削減、5人減で2学級削減、12人も在籍が減り3学級の削減（4月実施の障教部調査）。府内では在籍の3割が退級となり、担任40人が削減された市もあります。4・27通知を発出した文科省の思惑通り、教員削減が進められています。大阪市では今年度、通級指導教室新設校への「加配」が実現しているようです。大阪市教は、昨年度に特別支援学級設置に関する要求書を複数回提出し、保護者や障害者団体と共同で4・27通知による教員の大幅削減を許さない運動を展開しています。

市教委は、26年度までに通級指導教室をほぼ全ての学校に設置を計画。大阪市教は、通級指導教室の全校設置を着実に進めることを求めるとともに、設置を理由とした、特別支援学級の削減、教員削減を許さない運動を展開していきます。

ガーベラだより
組合加入の理由 働き方 改善したい

定期大会の発言を紹介します。

私が組合に入ろうと思った理由は3つあります。

①「教採突破講座」に参加したことです。4年前から私学で非常勤講師、昨年度は大阪市で常勤講師として勤務。初めての受験で何も分からなかった私に組合の方が丁寧に対応してくださり、合格することができました。その感謝の気持ちと、将来教員を目指す人の役に立ちたいと思いました。

②教職員の働き方を本気で改善したいと思っているからです。私は体調不安があり、運動系の部活は断っていたのですが、主顧問をする予定の方が断ったことで、運動部を持つことになり、いまは生活を犠牲にしながら不安な気持ちで勤務しています。長時間労働、部活動、講師の処遇など、学校現場には多くの問題があります。子どもがいる方、体調に不安を抱える方、老若男女、誰もが自分の生活を犠牲にせずに持続可能で、やりがいもって働くことのできる環境を作りたいです。（続く）

小学校 教科書採択
調査研究時間を

教科書大阪市民の会は5月9日「2024年度使用教科用図書の採択についての要請書」を大阪市教育委員会に提出。地域住民の声が反映されること、「専門性を有し、…調査研究を行うことができる」（市教委文書）現場の教員の役割が発揮されることが必須であると要請しました。

○「学校調査会」がその役割を発揮できるように、調査研究の時間を確保すること。「学校回覧」の期間を延長すること。

○（文科省も「保護者等の意見がよりよく反映されるような工夫をすることが求められ」としており）大阪市の展示会で、区役所の片隅、椅子もない等、市民が研究する条件整備が行われていない所があります。展示会の会場を改善すること。

○人権尊重、ジェンダー平等、多様性の尊重、子どもの内心の自由を守ること…採択過程において尊重されること。

教科書展示会が6月5日（北区、淀川区）から始まります（大阪府教科書センターで検索）。

働き方改革プラン
教職員増を

第2期「学校園における働き方改革プラン」についての横山英幸大阪市長会見を5月11日MBSが報じました。

プラン・「はじめに」の「学校園で働く教員の頑張りと様々な取組の成果により、**大阪市における教員の時間外勤務は着実に減少している**ものの、過労死ラインとされる月平均80時間を超える教員が一定数存在しており、学校園における働き方改革は喫緊の課題となっています」に職場の怒りの声が上がっています。

4月に公表された「労使関係アンケート・自由意見」でも、「7時から出勤…出勤の打刻は遅らせている」「休憩時間がまったくとれていない」「明らかな労働基準法違反」「残業代を出すべき」の声が上がっています。「プラン」も取り上げている「授業時間数」などの業務削減、何よりも教職員増を行わない限り真の働き方改革は進みません。

たんぽぽだより 6月

定期大会では、青年がそれぞれの立場で必死に奮闘している現状や組合に加入した理由、自身の組合活動、そして組合の大切さについて発言しました。同じ青年が一生懸命訴えている姿に感動し、組合のつながりがたくさんの青年を支えていると改めて感じました。

青年部総会を6月3日(土)10時、6月16日（金）19時、アネックスパル法円坂で2回に分けて行います。

昨年度の振り返りや今年度の取り組みについて話し合い、青年として教育委員会に訴えたいことを出し合います。どちらの日でもかまいませんので、ぜひご参加ください。皆さんの不満や困りごとが要求になっていきます。日頃、職場ではなかなか話せないことを心置きなく話しに来てください。少しでも顔を合わせて、青年同士でつながりを深めたいなと思っています。皆さんと会えるのを楽しみにしています。

教採突破講座
②6月17日（土）
③7月29日（土）
HP申し込み

専門部総会
青年
・6月3日（土）
・6月16日（金）
事務
・6月17日（土）
女性
・6月24日（土）

アネックスパル法円坂